

人権・同和教育

(1) 目 標

- ① 基本的人権を尊重する理念を十分理解させ、さまざまな教育活動において、認識・実行できる人間を育成する。
- ② さまざまな人権問題のうち、同和問題については、和歌山市の同和教育方針に基づいて取り組み、差別をなくす担い手となる人間を育成する。
- ③ 障害のある人々や高齢者の理解ができ、共に生きる人間を育成する。

(2) 方 針

- ① 人権学習を学校の教育目標、教育計画、総合的な学習のテーマと関連づけて計画的に進める。
- ② すべての教科学習の中で鋭い人権感覚をもって取り組み、教科間で連携をはかる。
- ③ 教育活動における教師と生徒、保護者、及び学校生活における生徒間の信頼関係の構築を進める。
- ④ 学校外の生活において、社会の一員としての責任ある行動、思考について認識させる取り組みを進める。

(3) 努 力 点

- ① 生徒一人一人の人権が守られ、大切にされる学級、学校づくりに努める。
(いじめなどがなく、一人一人が楽しく学校生活を送れる学級づくり)
- ② 人権意識をもって教科学習に取り組み、教科間の連携を深め、密にする。
- ③ 体験活動などを実施し、さまざまな人権感覚の体得に努める。
- ④ 教職員の研修を深めると共に、保護者への啓発に努める。

(4) 学習計画

学期	テーマ	学年	学 年 目 標	内 容
前 期	い の ち ・ 愛 ・ 人 権	1	○特設支援学級について正しい理解をさせる。 ○自他ともに大切にする意識を認識させ、高めさせる。	○特別支援学級についての正しい理解 ○仲間づくり ○アサーティブへのアプローチ
		2	○正しい職業観を身につける。 ○人間関係における人権意識を高める。	○職業体験・家族・親の仕事
		3	○憲法に保障された基本的人権の重要性について、学習を深める。	○民族問題 ○同和問題
○人権と平和の問題について考える。				
後 期		1	○身のまわりの偏見と差別に気づかせる。 ○命の大切さを考える。	○学校や学級など身のまわりの人権問題を考える。
		2	○バリアフリーの思想と実践力を習得する。 ○命の重みを再確認する。	○障害者・高齢者への理解 ○命を守る活動に学ぶ
	3	○部落問題解決の展望をもつ。 ○自分たちの生きる道に人権問題を位置づける。	○職業の種類と偏見	

(5) 具体的な取り組み

	前 期	後 期
一年	○特別支援学級とは、どのような学級かを知る。 ○一人ひとりを大切に学級づくり ○アサーティブな会話のトレーニング	○言葉のもつ重さを学ぶ
二年	○各事業所での職業体験と偏見についての考察	○障害者・高齢者の模擬体験や聞き取り ○病気や障害と闘う人の講演・ビデオ
三年	○「民俗差別」「部落差別」	○「就職差別」